

平城春秋

第五十五號
 發行所 平城市 平野町八番八
 電話 四八八番
 印刷所 平城市 印刷所
 電話 四八八番
 定価 一圓五十錢

木 炭

何ごかならぬか此の嚴寒に

隘路だらけで四苦八苦

輸送の沙汰も金次第か

例年より寒さの厳しい今年
 の冬にかけの炭でも多
 く欲しいのに去年の十月、
 十一月、十二月と三ヶ月の
 木炭配給で寒々としたクリ
 スマスとお正月を迎へた
 最近漸く一月分として一戸
 半俵の配給があつたが、
 木炭はどうして配給されな
 いのか。隘路は「製炭」か
 「供出」か「集荷」か「輸
 送」か。木炭に關する限り
 その全部が隘路なのだ。
 先づ今年に際しては、例年
 例年より一ヶ月早く雪が降
 り、その後、雨ばかり降り、
 其の爲に満足に炭を築く
 事が出来なかつた。又、平
 七濱に散在する製炭業者が
 製炭用の燃料として、どん
 どん薪を買つた。一タナ(二
 十ト)の原木を木炭にする
 と二百三圓になるが、薪にす
 ると、ただ割つて束ねるだ
 けの手數で二百六十圓にも
 なり、其の他に運送の見返り
 物資がついて来るのである
 から、薪として流れるのは當
 然である。輸送にも亦極め
 て多くの困難な諸現象があ
 る。製炭してゐる現場から
 馬車やトラックの行ける所
 迄は極めて悪條件の山道で
 人間の背中で一俵々々搬出
 せねばならぬし、其處迄運
 び出して一雨降れば暫らく
 は馬車もトラックも通れな

い泥道となつてしまふ。現
 在永戸村の永井に二千俵の
 滞貨があるが道が悪い爲に
 燃車で行けずガソリン車
 でなければ駄目だがガソリ
 ンが手に入らぬ。川前にも
 二千俵の滞貨があるが、是
 は包装資材が無い爲に、ハ
 カのまゝ、窯場に山積して
 る。三阪には五千俵あるが
 途中の道路上に最近大石が
 落下しトラックも馬車も不
 通で併も人間の手では動か
 ず事が出来ず石屋を頼んで
 カッチンと割つて貰ふ
 より他に手が無いと云ふ又
 双葉郡の川内にも相當の木
 炭があるがトラック輸送で
 は莫大な運賃となり、とも
 配給出来る値段でなく、つ
 てしまふ。とするは貨車輸
 送に頼る他は無くなつてし
 まふ。

戀三味線

風流 寛政 千明 明子
 羅門光三郎 月宮 乙女
 小栗 幹治 伊志井 寛
 廿一日—廿七日
 平市 聚樂館

人物 温和にして沈静なる人物

松本徳一氏

予想と實際とは一致する事もある
 ば、食ひ違ふ事もある。松本徳一氏
 と古川一氏とは、どういふものか
 は同じタイプの人物のやうに心
 得てゐる。両方とも酒席の禮那で
 あり、名前が似てゐるといふ一
 やうに似た所がある。松本氏も
 も知れぬ。しかし實際の松本氏
 の感じは古川氏に温和なもので、
 新進派の若さを見逃さな
 かつた。廿五歳の若さを以て早く
 おらが村の村會議員に祭りあげ
 られた。廿八歳の折は更に當時

「おらが銀行」の設立

星一氏の金融新構想

圓なら供出すると云つてゐる
 (現在小買價格三十三圓
 二十錢)製産費値上りの一
 例として包装資材を例にと
 ると一俵當りのスゴや繩は十
 一月三十日以前は二圓見當
 であつたのが今では五圓位
 にもなつてゐる。
 とにかく開値は一俵七、八
 十圓から百圓の呼値までし
 てゐる今日斯の様な悪條件
 になつてゐる。木炭の配
 給見通しは全く悲觀的な状
 態である。然し市當局でも
 市民一ヶ月の總消費量八千
 俵を何とか確保して暖かく
 なくとも寒くない冬を過ぎ
 せよと努力してゐるから
 近く報があるかも知れない
 (N記者)

坂井清之助氏

内閣より内定

地方株式等評價委員
 坂井清之助氏は過般仙台財
 務局長の推薦により、財産
 税法、株式等評價委員に東
 北六縣より民間十二名の職
 域代表として内閣より内定
 された。氏の戦後復興を圖
 る緊要なる國庫収入を確保
 すると共に富の均衡化によ
 り經濟の民主化に期待する
 ところ多大なるものがある
 のが事實である。

人物 松本徳一氏

予想と實際とは一致する事もある
 ば、食ひ違ふ事もある。松本徳一氏
 と古川一氏とは、どういふものか
 は同じタイプの人物のやうに心
 得てゐる。両方とも酒席の禮那で
 あり、名前が似てゐるといふ一
 やうに似た所がある。松本氏も
 も知れぬ。しかし實際の松本氏
 の感じは古川氏に温和なもので、
 新進派の若さを見逃さな
 かつた。廿五歳の若さを以て早く
 おらが村の村會議員に祭りあげ
 られた。廿八歳の折は更に當時

大阪造船所
 平製鋼所
 謹賀新年

大田貞
 文房具部
 米どり商會

金城醫院
 外科 内科
 橋本 松本

平會館
 内木外科醫院
 平市三丁目
 電話 六二四番

日本醫藥團平病院
 診療科目
 内科 外科 眼科 耳鼻科
 産婦人科 レントゲン科
 電話 六〇八番一—番
 平市十五丁目

磐城自動車工業株式會社
 福島縣指定自動車
 整備主要工場
 平市正月町
 電話 三九〇番

わが青春に悔なし
 配役
 原節子
 藤田進
 河野秋武
 大河内傳次郎
 廿一日—廿七日 平市 世界館

夢のほなし

内木宗八

思ひ出の故郷高松の町の氏神八幡様—今度の空襲で町は全滅しましたが、八幡様は残つて居ます—の秋祭は、その頃毎年町の人氣を沸かへせました。社頭からまつすぐに六七町、兩側に連子窓のしもた家が並んで東にのびる宮町に空地があつて見世物小屋がならびます。五錢の木戸を拂つて輕業の小屋に入つて見ます。舞臺では屈強な太夫が頸と腰の下に枕をあてがつて、メリヤスの股引に縞子のパンツのやうなものを穿いた兩脚をまつ直ぐに上たて、兩足の裏に子供の太夫を乗せて自由自在にあしらつて居ます。子供の太夫が手枕で横になると、カタンハユメノマクラアと奇聲をあげて口上をいひます。今度はビール樽を小さくしたやうなものをのせ、兩足を左右にスクリウのやうに廻らします。又駈足のやうに足を前後に運動させると樽は水車のやうに廻ります。そして淀の河灘のミズグムアなんて口上が入ります。こんな他愛もない演技を悪童共は啖きり飽かしやぶつたり、甘蔗(さとうきび)をかじつたりしながら、感に耐えて見入つて居たものでした。淀の水車ちよのはわかるが、カンタンノユメノマクラちよのはなんぢやいと解せぬ氣持でした。後に中學生になり漢文の時間かなにかに、漸く邯鄲の枕の意味を解しました。甚だ無氣力な風家坊

盧生が邯鄲の町で、富貴を夢みると云ふ枕を仙人から借りて、ちよつと假睡した間に豪華絢爛たる數年の貴族生活の夢をみました。醒めて見ると、傍に炊きかけ居た粟がまだ煮えて居なかつた云ふ皆さん御存知の筋です。この寓話は勿論榮華の果敢ないこと權花一朝の夢にも等しいこと云ふことを諷したもので、一面又夢と云ふ精神現象の短時間即一鍋の粟も煮えきらない位の時間と、夢の内容容としての客觀現象の長い時間即富貴生活の數年間との極端な對比を寓したところもありません。

一體夢を見て居る間の時間と云ふものは、これを厳密に測定する方法はないやうです。私達が睡眠中に見る夢も睡眠中ずつと見て居るのか、或は睡眠中の一瞬間に見るのか判然とはしません。

ところで夢と現實との内容的相関性は一般には否定出来ぬものでして、私達の見る夢でも、その内容がいかに突飛的なものであつても、現實の思念體驗の世界と全然無關係であるとは云へません。極端な場合は夢の内容と夫と反對の現實の體驗記憶とがゆめの中であつたかふことさへあります。

このゆめと現實との關係性は色々の方面で利用されていますが、探偵家や探偵小説家はゆめの内容を直接現實にむすびつけて利用するもので、ゆめの内容が現實的であればある程便利であります。

精神分析學でゆめを第二の人格として取り扱ふ場合は、ゆめの世界に於ける思念や行動の組み立てを追及して、その個人の病的精神活動を分析するのであつて、その内容が現實的であるかないかはあまり顧慮されません。鏡花の有名な「外科室」などにしても、麻酔中のうわ言が現實の體驗に關聯があることに意味があるのですが、精神分析學的には意味がありません。結局精神分析學は探偵小説ではないこと云ふことになり、逆にいへば、現實を逸脱した極端に突飛なゆめは精神分析學のありゆめを現實に關聯のあるゆめを見るのは稍々健全な精神状態と云へるし、全然ゆめを見ない人間は最も健全な精神の持主といふことにもなるかも知れません。

精神分析學は日常の生活そのものが幻覺的なものであります。健康者の場合でもゆめを第二の人格、精神の分裂型と考へるとゆめは睡眠中に現る如く見る現象であるといふ字義的解釋には少しく疑問があります。客觀的には蒲團をかぶつてグウ／＼寝て居るやうに見えても、實はその個人から抜け出た別のエーテル的人格が盛にある種の精神活動をやつて居るとすればこれは相當無氣味な話であり得ます。或は精神分裂患者以上であるかも知れません。

元來ゆめは計量的に見ることが出来ぬもので、こゝなゆめを見たいと思つても希望通りにはゆめかぬし見果てぬゆめなど云つてゆめは多く尻切れとんぼのもので、その續きを翌晩見ようと思つても決して見られませんが、又ゆめは記憶から消失しやすいもので、ゆめがたりなど云つて、見たいゆめを興味的に話す場合も創作的なものが附加されて不純なものになり易いものです。この莫々たるゆめをもつとしまつたり私共の意思の中に捕へてゆめを立案計畫したりひやう／＼として正体の知れない第二の自己を認識の中に把握して分解觀察する方法はないものでしょうか。ゆめは五臟六腑の疲れと内臓殊に消化器官の過勞であります。事實ものを食つてすぐ眠るとゆめを見るといひます。私自身もそのやうな經驗がしばしばあります。睡眠中他の運動中樞や感覺中樞が休止して居る間に、自律神経系統は活動して居ります。ものを食つて胃袋が充満して居ると、消化に關係ある副交感神経系統は余計に活動して居ることになります。かりに脳髓にゆめの中樞があつて、これを消化を司る植物神経と連絡があり、この植物神経の異常な活動が反射的に中樞を刺激してゆめが發現すると云ふ風に考へますと、ゆめは生理學的に説明が出来、もつと奇抜な考へ方をすれば、修練によつては計量的にゆめを見ることが出来るかも知れません。大發明のヒントをゆめの中でつかむと云ふ手もあり得ます。或は又睡眠中に含水炭素の多いうごんを喰つたり、蛋白質の多いカツレツを喰つたり、夫等のものを多くくつたり少くくつたりすることによつて自由自在に電燈のスイッチをひねつた眞暗な寢室の中で、第

二の自分を活躍させることも出来る云ふものであります。しかしこの第二の自己はどこの自分の肉體から遊離したものでありせんから、これを魂などと云ふことは出来ませんし、ましてコン／＼さまのやうに他人にのり移つたりすることは出来ません。太平洋戦争は日本の幻覺であつたなどと云ひますが、それは第一の日本が眠つて居る第二の日本が無法に活躍したと云ふ意味でせう。しかしこの戦争責任は内外から嚴重に追及されて居ます。つまり日本全体としては睡眠中であつたと云ひのされることは出来ません。それと同じ意味でゆめを見て居る個人もその個人全体として醒めて居るのかも知れません。全くゆめのやうな話です。

新設 自動車修理部
 ダットサン ダイハツ マツダ くろがね
三浦商會
 平警察署前通り
 電話 八六四番

星製藥株式會社
福島工場
 平市五丁目二八
 電話 六六八番 三五三番

釜屋商店
 平市五丁目
 電話 九番九九番

阿康告知板
 冬の病氣(シモヤケ、ヒビ)の豫防に
 ① 肝油球(マニッシュ) ② 皮膚保護藥
 ③ 感冒、セキ藥
 右衛生資材準備に御利用下さい
阿康藥局
 平市田町銀座街
 電話 四十四番

米久
 御手輕な御食事
食堂 米久
 電話 五九〇番
 平市三丁目一番地

少年の町」役場
 鈴木 傳明
 平市公會堂前
 電話 六〇三番

百澤機械店
 電動機、農機具類
百澤易重
 平市四丁目(局前)
 電話 九七一番

共同電氣株式會社特約店
久野電機工業所
 平木工製作所
 社長 佐藤幸太郎
 事務取締役 足助重雄
 本社 平市新田町二六
 電話 七一・四五五・七七二
 東京事務所 東京都芝区新橋二
 電話(7) 四八三三番
 工場 電話 二九二・二七三
 三八九・八三五・三五〇
 蓄電池 磁器電機
 マクネット 船舶自動車
 電機一般
久野電機工業所
 平市二丁目九番地
 電話 平七二番
 振替東京1110番

百澤機械店
 日本巴布藥工業株式會社
 藥産藥株式會社
 平市田町二番地(平局前)
 電話(平) 五五九番

タペシリン軟膏
 其の他有名藥
 御注文ニ應ジマス
 日本巴布藥工業株式會社
 藥産藥株式會社
 平市田町二番地(平局前)
 電話(平) 五五九番

新屋硝子工業株式會社
 醫藥用、化學用其他
 硝子製品一切の製造
 平市加町
 電話 七一四番

株式會社ホシ藥舖
 平市三丁目五
 電話 四二九番

店
 元日ヨリ開店
 正月は新年をこらした
マルサ食堂
 MARUSA DINNER HALL
 平市 2 丁目 TEL 271

釜屋商店
 平市五丁目
 電話 九番九九番

星製藥株式會社
福島工場
 平市五丁目二八
 電話 六六八番 三五三番

阿康藥局
 平市田町銀座街
 電話 四十四番

米久
 御手輕な御食事
食堂 米久
 電話 五九〇番
 平市三丁目一番地

少年の町」役場
 鈴木 傳明
 平市公會堂前
 電話 六〇三番

百澤機械店
 電動機、農機具類
百澤易重
 平市四丁目(局前)
 電話 九七一番

共同電氣株式會社特約店
久野電機工業所
 平木工製作所
 社長 佐藤幸太郎
 事務取締役 足助重雄
 本社 平市新田町二六
 電話 七一・四五五・七七二
 東京事務所 東京都芝区新橋二
 電話(7) 四八三三番
 工場 電話 二九二・二七三
 三八九・八三五・三五〇
 蓄電池 磁器電機
 マクネット 船舶自動車
 電機一般
久野電機工業所
 平市二丁目九番地
 電話 平七二番
 振替東京1110番

釜屋商店
 平市五丁目
 電話 九番九九番

星製藥株式會社
福島工場
 平市五丁目二八
 電話 六六八番 三五三番

阿康藥局
 平市田町銀座街
 電話 四十四番

米久
 御手輕な御食事
食堂 米久
 電話 五九〇番
 平市三丁目一番地

少年の町」役場
 鈴木 傳明
 平市公會堂前
 電話 六〇三番

百澤機械店
 電動機、農機具類
百澤易重
 平市四丁目(局前)
 電話 九七一番

共同電氣株式會社特約店
久野電機工業所
 平木工製作所
 社長 佐藤幸太郎
 事務取締役 足助重雄
 本社 平市新田町二六
 電話 七一・四五五・七七二
 東京事務所 東京都芝区新橋二
 電話(7) 四八三三番
 工場 電話 二九二・二七三
 三八九・八三五・三五〇
 蓄電池 磁器電機
 マクネット 船舶自動車
 電機一般
久野電機工業所
 平市二丁目九番地
 電話 平七二番
 振替東京1110番